

平成31年(2019年)度 ロンドン日本人学校 学校経営方針

1 学校経営の基本方針

本校は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする日本国教育関係諸法規、並びに英国教育関係諸法規に基づき、児童・生徒や地域の実態に即し、日本国義務教育学校の指導内容に準拠した初等中等教育を行う。

2 本校教育の基礎

本校教育は、人間尊重・相互信頼の上に立ち、児童・生徒の人格の完成、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成、教育の機会均等の実現を目指す。

3 学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きぬく児童生徒の育成

4 合い言葉

自立・貢献

自立：自分の力でやっていくこと。考え、判断し、選択し、責任ある決定と行動をすること、この過程を人任せにしないこと。

貢献：他の誰か・何かのために力を発揮すること。

これらを通じ、「社会的成功」と「幸せ」の実現を図る。

5 目指す児童・生徒像

国際社会を生きぬくために考え行動できる力をつける

合い言葉	第1段階	第2段階
〔自立〕	かしこく	様々な場で言葉や技術・能力を使いこなす 知識や情報を収集し、有効に活用する 目的に応じた表現ができる
〔貢献〕	すすんでかかわる	他者の視点から物事をとらえる 目標達成のために他者と協力する 意見や立場の相違・対立を克服・解決する
〔自立 /貢献〕	たくましく	自己をコントロールする 見通しを持って計画的に行動する 建設的に意見の表明・主張をする

6 目指す教師像

児童・生徒にとって最大の教育環境は教師である

- ・「合い言葉」を体現できる教師
- ・「目指す児童・生徒像」の実現に向け、児童・生徒に力をつけることができる教師
- ・「在外教育施設の使命」を自覚し、ロンドン日本人学校の教師としての誇りをもって、保護者・邦人社会の信頼と期待に応える教師
- ・常に学び続け、教育活動の改善に向けたアイデアの表現と、多様な他者との協働を通じた成果をあげる教師
- ・児童・生徒のよき「大人モデル」たる教師

7 学校経営の重点

「学校教育目標」「合い言葉」「目指す児童・生徒像」を踏まえ、以下の実践に重点をおく

7-1 「自立」を目指した「確かな学力」の育成

- ・教育活動の土台となる「読み・書き・文章力」の育成を全ての教育活動で実践
- ・「気づき・考え・疑問点」を文章化するノート指導等の実践
- ・文章力の向上、知識・情報収集の手段として、図書の利用・読書活動・ICT機器の活用
- ・英国・ロンドンに立地する地の利を活かし、コミュニケーション能力の向上を主眼とした英語・英会話授業実践の充実

7-2 「貢献」を実現させる たくましく、国際社会につながる力の育成

- ・「貢献」「すすんでかかわる・たくましく」の実現を目指した「考え、議論する道徳」の授業実践
- ・学校行事の精選と充実
- ・児童会・生徒会活動の活性化及び異学年交流の充実
- ・進路指導・キャリア教育の充実
- ・体育・健康教育の充実

7-3 信頼される学校づくり

- ・安全・安心な教育環境整備
- ・「自分の命は自分で守る」視点を踏まえ、大使館等関係機関との連携による避難訓練実施を通じた危機管理意識の高揚
- ・組織的・効率的な校務運営の実現
- ・大使館をはじめとした関係諸機関・地域諸機関との連携
- ・公式サイト・blog等を通じた情報発信